

# わかった！できた！



令和2年6月26日 No.8

## ○「学力フォローアップ校事業」について

本校では、一昨年度から広島県教育委員会より「学力フォローアップ校事業」の指定を受け、主に算数科の授業を通して児童の学力向上に取り組んでいます。この事業の趣旨は、児童の「主体的な学び」を促進し、学力の向上を図るため、小学校低学年段階からの学習のつまずき等を把握し、解消する指導方法等に係る実践的な研究を進め、その成果を検証、普及することです。

以下のような取組を通して、児童に「わかった・できた」を実感させていきたいと考えています。

### 主な取組

- 児童のつまずきの要因分析
- 児童の理解を助ける効果的な教材・教具の開発
- 学習意欲を喚起し、最後まで学びに向かわせる授業の工夫
- 授業等における、課題のある児童への支援
- 学力の定着を図る阿東っ子タイム（朝タイム）
- 文章を読み取る力をつける指導の工夫
- 自分の考えを持たせる指導（ノート指導・ペアトーク）
- 学習規律の徹底
- 家庭学習の充実 等

## ○第1回校内研修を行いました。

6月9日（火）に、学力フォローアップ校事業の第1回校内研修を行いました。本来であれば、授業研究を通して研修を行う予定でしたが、臨時休業により予定を変更し、学力フォローアップ校事業の進め方や、児童のつまずきから手立てを考える方法の演習を行いました。

本年度も昨年度に引き続いて、より多面的に児童の実態をとらえた上で、ユニバーサルデザインの視点を意識して児童のつまずきの要因分析から手立てを考えることを演習を通して確認することができました。

また、廿日市市教育委員会より、金本旭史指導主事に来ていただき、学力フォローアップ事業の趣旨を再度確認すること、「なぜできないかをとことんまでこだわる。」指導を目指すこと、この事業の取組を廿日市市全体に普及させること、の3点についてお話をいただき、全教職員で意識しなければならないことを再確認することができました。

